

は じ め に

徳島県立保健製薬環境センターは、保健衛生、薬事及び環境分野に関する科学的・技術的拠点として、様々な健康危機事象、環境危機事象に迅速に対応し、県民の皆様の安全・安心、豊かな生活環境を確保するため、調査研究、試験検査、情報発信等の業務に取り組んでいます。

令和5年度においては、地方衛生研究所の法定化、「徳島県感染症予防計画」の改定を踏まえ、「徳島県立保健製薬環境センター健康危機対処計画（感染症）」を策定いたしました。本計画では、新興感染症等の発生初期において当センターが検査を担うことを想定し、平時から施設・設備の整備及び人材確保・人材育成などを計画的に準備するとともに、関係機関との連携や協力体制の強化を図ることとしています。

次の感染症危機発生時には、本計画に基づき迅速に初動体制の立ち上げができるよう、平時における実践型訓練を始め、技術を継続して伝える仕組みを構築するとともに専門人材の育成に取り組んでおります。

さて今回発行する年報では、令和5年度の業務概要、調査研究の成果及び監視・測定結果を掲載しており、このうち、保健衛生分野では、新型コロナウイルス感染症に対する検査や農産物中の残留農薬検査結果などについてまとめております。

また環境分野では、県内の大気汚染物質に関する調査研究や水・土壌等の環境管理に関する調査研究などに取り組んでおり、このうちオキシダント濃度や、徳島県沿岸海域における外海起源の窒素濃度、生息するプランクトンの種類と変遷などについてまとめております。

当センター業務に御協力をいただきました関係者の方々に感謝申しあげますとともに、御一読いただき、御意見をいただければ幸いです。

今後とも、県民の皆様のニーズに応えられる地方衛生研究所、地方環境研究所を目指し、新たな試験研究課題に取り組んでまいりますので、一層の御指導、御支援をよろしくお願いいたします。

令和6年11月

徳島県立保健製薬環境センター

所 長 相 原 文 枝